



来場を呼びかける佐藤さん(左)と久保田さん



昨年優勝した日本チームの演技 (JFAGG 提供)

芸術的な体操競技

「AGG ジャパンカップ 2024 山口」

周南

3月23、24日・学び・交流プラザ

フィンランド発祥の00年以上前にフィンランドで始まったと言われ、6人以上のグループ体操競技、AGGの国内大会「AGG ジャパンカップ2024」が3月23日(土)24日(日)に、周南市のまなび交流センターで開催される。日本AGG連盟(JFAGG)の主催。

AGGは「エスティック・グループ・ジムナスティックス」の略。1

フィンランド発祥の00年以上前にフィンランドで始まったと言われ、6人以上のグループ体操競技、AGGの国内大会「AGG ジャパンカップ2024」が3月23日(土)24日(日)に、周南市のまなび交流センターで開催される。日本AGG連盟(JFAGG)の主催。

AGGは「エスティック・グループ・ジムナスティックス」の略。1

表現が要求される。選手同士の連携や協調性など高い水準のチ

国内には2012年約30チームが参加を予定している。

久保田さんは光市出身の元新体操選手でJFAGGの設立メンバーの1人。2017年

から国際AGG連盟(IFAGG)理事を務め、現在は同連盟アジア委員会委員長も兼ねる。東京で体操教室「ニカAGGアカデミー」を主宰し同競技の普及とレベルアップに尽力している。

23日は午後3時の開会式のとに予選競技▽24日は正午から決勝競技が始まり、表彰式、閉会式がある。今大会で審判長を務めるJFAGG理事の佐藤真さん(48)も周南市での大会開催を楽しみにしている。2人は、高い身体技術と表現の美しさを競うAGGをぜひ見て欲しいと呼びかける。

大会プログラムの広告掲載、賛助金も受け付けている。

問い合わせはJFAGGホームページから。

NEWS

購読のお申し込み・
広告掲載の依頼・
催しもの情報など

ご用命は 《新周南新聞社》
☎0834-26-0303

JFAGG ホームページ
QR コード